平成27年度 始業式の話

今日は平成27年度最初の日です。先程、新しい先生方を紹介し、いよいよ新年度がスタートしました。中学校のサイクルは入学から卒業まで3年間です。校長先生にとって小田北中へ来て4年目ですので又新たな一歩と思って心機一転で頑張りたいと思います。

さて、過去3年間を振り返って見るとお陰様で校内は落ち着いてきています。先月の修了式で野村先生が言ったこと覚えていますか？野村先生は小田北に8年間おられました。3学期末に8年前の教え子がやって来て「小田北変わったな～」と言った。何が変わったか？と聞いたらみんな挨拶してくれる。「やらしてんの？」「いいや、やらせてるわけでない」と言ったら凄いなあ～と言ってくれた。皆さんは、挨拶出来ている、出来ていることをもっとしていけるようにして下さい。とおっしゃっていましたね。

先生が来た1年目、高3になる学年ですか… 一部の人なのですが、人やものを傷つけたり、法律に違反するようなことを再三して、地域の人にも、先生方にも迷惑をかけていました。失敗は成功の元でそれぞれ反省して次に向かえばいいのですが、その気配なく卒業して行った人もいました。特に、校長先生が未だに許されないのは、購買部のパンをどさくさ紛れに持って行き、柿元さんにご迷惑かけたことです。

今年高2になる昨年卒業した3年生は、それらのマイナス面を反面教師にしたか？学校内では、特に大きな迷惑行為をすることなく、全員が揃って卒業式に出席し、全員が高校や専門学校に行きました。全員が卒業式に出席する…当たり前のように今の時代、当たり前でもないですね。残念ながら、お家の都合などで進学先を辞めてしまった人もいますが、立つ鳥跡を濁さずで卒業して言ってくれました。先日卒業した3年生は、一年生の時は、お隣のイオンなどで迷惑を掛けたりした人もいましたが、地域からの苦情もこの3年間で一番少ない学年でした。正に失敗は成功の元で、心が成長して卒業していつてくれたことと思います。

学校は、世の中に出るための勉強するところです。そのための一つに時間割にある教科や行事、掃除などがあるわけです。そして、もう一つは色々な人と仲良くできる術を身につけることです。最後の一つは、世の中に出て自分勝手なこと、我慢せず好きなことをして他人に迷惑をかけない態度心構えを身につけることです。ある意味教科の勉強以上に大事かもしれません。

と言うことで皆さん 今年、来年とこの良き伝統を守って行って下さい。春は変身のチャンスなんです。過去は変えられません、しかし、未来は変えられるんです！昨年までの悪い事や嫌なことは忘れて、新たな一歩を踏だせばいいのです！自分の未来のため、より良い学校つくりのために、個人個人の努力はもちろん大切ですが、お互いに支え合ったり、励ましたり、注意し合うという行動をとって下さい。

引き続き先生方や地域に迷惑をかけず誇れる小田北中学校を創って行けるように努力することを期待して始業式のお話を終わります。